

令和元年度 第3回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会 要点記録【確定稿】

- 開催日時：令和元年9月10日（火）18時30分～20時05分
- 開催場所：田無総合福祉センター4階 第3会議室
- 出席委員：長田範子、小野修平、佐々木敏幸、田邊洋、阿壽子、山本弓彦、渡邊浩文
＜以上7名、敬称略、五十音順＞
- 出席役職員：佐藤文俊、妻屋良男、飯塚和幸、嶋田孝雄、長山清美

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（令和元年7～8月）
資料 2：コーディネート状況等月次報告（令和元年7～8月）
資料 3：ボランティアコーディネート実績表（令和元年7～8月）
資料 4：夏！体験ボランティア西東京2019 参加者基本データ
資料 5：夏！体験ボランティア西東京2019 学校・勤務先別参加者数および種別ごと参加者数
資料 6：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（令和元年9～10月）
資料 7：令和元年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録【未定稿】案
資料 8：傾聴ボランティア養成講習会 事業実施企画書
資料 9：気球くんプラン進行管理予定表（再配布）
- 資料別冊：令和元年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（確定稿）
- 資料別紙：ぼらんていあ倶楽部第107号
資料別紙：災害ボランティア養成講習会 参加者募集チラシ
資料別紙：西東京市災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ボランティア募集チラシ
- 【当日配布予定資料】
- ・夏！体験ボランティア西東京2019 参加者アンケート集計結果
 - ・夏！体験ボランティア西東京2019 受入側アンケート集計結果

1. 報 告 事 項

- (1). 業務報告（令和元年7月・8月）について（資料1～3）
- ・事務局より業務報告を行う。
 - ・委員より特に質問はなし。
- (2). 夏！体験ボランティア西東京2019の実施報告について（資料4～5および当日資料）
- ・事務局より業務報告を行う。参加者用アンケートについては、回答数が少ないので連絡を入れ回収を図る。受け入れ側からは、参加者の参加態度（無断欠席、挨拶・返事ができないなど）に困ったとの声も届いている。

- ・ 委員より特に質問はなし。
- (3). 業務予定(令和元年9月・10月)について(資料6)
- ・ 事務局より業務報告を行う。
 - ・ 委員より特に質問はなし。

2. 審 議 事 項

- (1). 令和元年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について(資料7)
- ・ 内容を確認し、項目の番号がずれていることを確認する。
 - ・ その他修正点等については、今週末までに事務局に連絡をいただくこととし、その修正を行ったものを承認とする。

3. 協 議 事 項

- (1). 傾聴ボランティア養成講習会の実施について(資料8)
- ・ 事務局より業務報告を行う。ボラセン主体で傾聴ボランティアグループ連絡会と共に3年間講座を開催してきた。今後は傾聴ボランティアグループ連絡会が主体的に講座運営を担ってもらえるよう企画してきている。
 - ・ 傾聴ボランティアグループの活動の経緯を知りたい。
 - ・ 第1～3期の養成講習会を修了した方を中心に「きずな」が組織されている。第4期の修了者達で「らぼーる」を立ち上げ、5期の修了者で「五期会」、6期の修了者で「ロッキー」、7期の修了者で「七期会」を立ち上げている。8期は修了者達を中心とした組織化がうまくできず、講座の開催もしばらく行ってこなかった。今回、傾聴ボランティアグループからの要請もあり、期間を定め、養成講座を再開している。その時、ボラセンの講座開催のノウハウを傾聴ボランティアグループ連絡会に引き継いでもらうために共同開催とし、年次を定めて主体を移行させることとなった。
 - ・ 傾聴ボランティアグループ連絡会としては、来年度以降の不安もあるが、今回講師を担ってもらう須永氏、田邊氏に期待している。
 - ・ 傾聴に関するニーズがあるので、育成には力を入れていきたい。
 - ・ 次年度以降もボランティアセンターは傾聴ボランティアグループ連絡会が主体的に開催する養成講習会に協力をしていきます。
- (2). 『気球くんプラン』について(参考:資料9)
- ＊各専門委員会からの報告
- ◎ 講座・講習会専門委員会の報告を受ける。8月27日に開催。ボランティアはじめて講座、ボランティア出張講座、小中学校連携事業について協議した。
- ・ 関わるボランティアの顔ぶれがいつも一緒であることが課題の一つ。誰でも参加しやすいはじめて講座である必要がある。講座には、スキルを身に付けるのであれば、理解を深めるものもある。

- ・ 今後の総合的学習の時間のメニューについて、点訳の会ともしび：佐藤氏、点訳サークルどんぐり会：白川氏などと一緒に協議する予定。
- 以降、運営委員との意見交換
- ・ 当事者も一緒に係ることができるメニューがあるとよい。
- ・ 子どもたちはただ話を聞くだけではすぐに遊んでしまうが、当事者の話であれば真面目に聞いている。
- ・ 学校が選びやすいようなメニューを示すとともに、その効果も示していけると良いのではないかな。
- ・ 夏！体験ボランティアでは、障がい者とかかわりに限らず、幅広い参加の場がある。
- ・ 子どもたちは高齢者と接する機会が減ってきているので、視点を変えて考えることも必要ではないかな。
- ◎ ボランティア支援事業専門委員会からの報告を受ける。8月26日に開催。ボランティアのつどい、ボランティアグループ・市民活動団体支援事業について協議した。
- ・ ボランティアのつどいに関しては、参加団体や当日のお客が少ないことが課題であること、ゆめこらぼのNPO フェスティバルとかかわりについて協議を報告。
- ・ グループ・団体支援については、活動室の使い勝手と貸出物品について協議を報告。
- 以降、運営委員との意見交換
- ・ ボランティアのつどいは、ボランティアの裾野を広げることも目的の一つ。多くの人に集ってもらいたい。
- ・ 集客がそのまま活動につながるわけでもない。活動者を増やしたいのが本音。
- ・ どこに焦点を当てるのが課題。ボランティアによりどれだけ豊かになったかについて取り上げてみてはどうか。
- ・ イベントを行うときは、市内の学校の行事を把握しておく必要がある。
- ・ 子どもが来ると、親も来る。来た親に参加できるメニューを用意しておく。
- ・ 清瀬では、小学生をターゲットにしてイベントを開いたところ100名増の結果が出ている。

4. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

- 日時：令和元年11月12日（火） 18時30分～20時00分
- 会場：田無総合福祉センター 4階 第3会議室

(2). そ の 他

- ・ 特になし。

●以上をもって令和元年度第2回運営委員会の審議、協議を終了し、閉会した。